一般社団法人日本看取り士会会長

柴田久美子さん講演会

看取り士とは何か～ありがとうの贈り物～

2015 9/13（日） 会場／大雲山 平田寺
愛知県北名古屋市九之坪宮前6
TEL／0568-48-6806

講演会 17：00～18：20（シェアタイム含）
交流会 19：30迄

講演会費／2000円
交流会費／2000円（いただき膳さんのお料理でワイワイと）※要予約
定　員／80名
共　催／Eco-Branch, 平田寺

【申込方法】
電話、メール、または下記申込用紙にご記入の上、ファックスにて、ご予約ください。参加費は当日お釣りの無いようご用意下さい。

【お申し込み・お問い合わせ】
Eco-Branch／鶴田紀子　noriko@eco-branch.com
TEL (052)503-1002　FAX(052)509-1683
平田寺／長谷川裕美子　yumikoon@gmail.com
TEL (0568)48-6806　FAX(0568)48-5920

平田寺までのアクセス
名鉄犬山線「西春駅」より徒歩約7分（名古屋駅から15分）

看取りは命のバトンを受け取ること。

講師の柴田久美子さんは「人生のたとえ99%が不幸だとしても、最期の1%が幸せならば、その人の人生は幸せなものにかわる。」マザーテレサのこんな言葉に導かれ、出産に助産師がいるように、死ぬ時も誰かに手助けしてほしいと思われる方々の想いに応えて、幸せな最期を望まれる方々のお手伝いをするため看取り士の育成に取り組んでおられます。

臨終とは『臨命終時 命の終わりの時に臨む』と書きます。最期の時、全ての人が愛されていると感じられること、家族や友人へ命が引き継がれる時間としっかり向き合い、身体の温もりをその手に移し、冷たくなるまでそばにいて、その冷たさを受け取る。

看取りは「命のバトンを受け取る」という尊い場面に立ち会える瞬間。死を深く見つめることが生を豊かに生きることでもあるのです。

看取り士　柴田久美子

島根県出雲市生まれ。日本マクドナルド（株）勤務を経てスパゲティー店を自営。平成5年より福岡の特別養護老人ホームの寮母を振り出しに、平成14年に病院のない600人の離島にて、看取りの家を設立。本人の望む自然死で抱きしめて看取る実践を重ねる。平成22年に活動の拠点を本土に移し、現在は岡山県岡山市で在宅支援活動中。新たな終末期のモデルを作ろうとしている。また、全国各地に「死の文化」を伝えるため死を語る講演活動を行っている。

一般社団法人日本看取り士会会長、一般社団法人なごみの里代表理事、介護支援専門員、吉備国際大学短期大学部非常勤講師、神戸看護専門学校非常勤講師。

日本看取り士会HP　http://mitorishi.jp/
なごみの里HP　http://nagominosato.org/

〈著書〉
「いのちの革命」舩井勝仁氏との共著（きれい・ねっと）2014.9
「ありがとうの贈り物 - 幸せな最期を自宅で -」（燦葉出版社）2013.4　他、多数

申込用紙

お名前

ご住所　〒

電話番号　（　　　）

交流会に／参加・不参加（どちらかに○をお付けください）